

3月2日 老人クラブ芸能大会
23組約120人が演奏や踊りを披露

第16回老人クラブ芸能大会が市泗水ホールで開催されました。当日は多くの観客が観覧に訪れ、歌や踊り、寸劇、紙芝居など、各地区で活動している老人クラブ会員の発表を楽しみました。



寸劇を披露する上西寺老人クラブの皆さん

3月1日 第35回泗水町少年剣道大会
小中学生が稽古の成果を発揮

泗水武道館で泗水町少年剣道大会が開かれ、泗水町の小中学生24人が参加しました。また、剣道体験会も同時開催され、参加した児童たちは面と小手に着けた紙風船割りを体験。威勢の良い音が武道館に響いていました。



毎週(休)休(金)の午後6時30分から泗水武道館で稽古をしています。見学だけでも構いませんので気軽にお越しください

2月18日 菊池南中学校
中学生が匠の技を体験

菊池南中学校で熊本県技能士会連合会菊池支部による職業体験が開催され、2年生(当時)約150人が参加しました。生徒は大工・鉄筋・瓦・左官・和菓子の5種類の職業から体験ができ、匠の技を間近で見ることができました。



茂田和虎さんは「簡単そうに見えましたが、実際にやってみると難しかったです。将来を考える良い機会になりました」と話しました

2月18日 菊池幼稚園
園児たちが交通安全を学ぶ

菊池幼稚園で交通安全教室が行われ、年長児22人と保護者、菊池地区交通安全協会が参加。同協会が約30年間続けた教室を勇退するため、園児が感謝の気持ちを込めて、折り紙の花束やちぎり絵のポスターを贈りました。



同協会の村上ふさよさんは「うまく話せなかった私が、皆さんに育ててもらい、長年教えることができました。ありがとうございました」と話しました

3月5日 子供たちの安全を願って
新入学児童へ交通安全用品を贈呈

(公財)熊本県トラック協会菊池支部が、今年4月に菊池郡市の小学校へ入学する児童約2千人を対象に交通安全用品として連絡袋を贈呈しました。同会が社会貢献事業として毎年行っており、今年で16回目です。



下川公一郎支部長(写真⑥)は「子どもたちが交通事故に遭わず、楽しい学校生活を送れることを願っています」とあいさつしました

3月4日 市役所を表敬訪問
森田修さんが功労者表彰を受彰

森田修さん(遊蛇口)が令和6年度熊本県農林水産業功労者表彰を受彰しました。森田さんは、林業振興の他、原木シイタケの栽培や幻のシイタケ「黒香」の復活に携わり、特産品として販路拡大に尽力してきました。



受賞に際し、木村敬県知事より、これまでの取り組みに対する称賞と更なる活躍を期待して激励の言葉が贈られました

2月21日、3月25日 市の発展に寄与
企業版ふるさと納税制度で市に寄付

不動産仲介業の(株)大三元(東京都)と介護サービスを提供する「医療法人滄溟会」(熊本市)が企業版ふるさと納税制度を通じて市に寄付しました。寄付金は、「子育て世代移住支援事業」と「交通コミュニティ対策事業」に活用します。



(株)大三元 錢妙玲代表取締役⑥
医療法人滄溟会 鈴木伸幸本部長⑥

2月19日 きくち未来創造塾
地域課題の解決に向けて

地域課題の解決や地域資源の活用に向け、既存のビジネスを活用しながら考える「きくち未来創造塾」の第3期修了式が中央公民館で行われました。市内で農業や飲食サービス業などを営む12人が自身のビジネスプランを発表しました。



今期を含め、30人の地域の担い手が輩出されています。今年度も4期目の開塾に向けて塾生を募集中です

3月6日 事業譲渡契約調印式
市内初の第三者事業承継が成立

柁原工芸の柁原賢一さん(立町、前列⑥)が、大津町で雑貨店を営む林佑多さん(前列⑥)に事業を譲渡しました。柁原さんは後継者不足などで廃業を決意し、市商工会に相談。今回、関係機関の支援を受けて事業承継が実現しました。



市では令和5年4月に関係機関と「事業承継連携支援に関する協定」を締結。市内事業者の事業承継を促進しています

3月5日 菊之池小学校
三角修さんが母校で「花育」活動

花卉農家の三角修さん(深川)が、母校である菊之池小でフラワーアレンジメントを指導しました。30年続く「花育」活動の一環で、カスミソウやガーベラを使い、菊之池小の1年生(当時)に花の切り方や配置を教えました。



児童たちは完成品を手に「難しかったけど、きれいにできました。家族にプレゼントしたいです」と喜んでいました

2月22日 泗水西小学校
150周年の記念式典を開催

泗水西小学校で創立150周年を記念する式典と記念祭が開催されました。記念祭では、児童が「田島プロジェクト」と題して、ダンスや劇などを披露。収穫したウメで児童が手作りしたジュースも振る舞われました。



プロジェクトの一環として学校北側に建設予定の住宅団地の名称も発表され、2年生の児童が考えた「ぼかぼかの森」を採用しました

2月21日 菊池教育会「里仁賞」表彰式
小中学生の善行をたたえて

菊池教育会(坂本敏正会長)が、菊池郡市の小中学生の善行をたたえ、5個人・団体を表彰。里仁賞は論語の言葉に基づき、人の模範になる行いをしている人を表彰するもので、市内からは泗水小学校の5年生(当時)3人が受彰しました。



⑥から坂本会長、松岡輝さん、中川玲さん、豊田優心さん

3月19日 KDSグループ
子どもたちを交通事故から守るため

KDSグループから、市内の新生児に「KDSゆるや傘キッズバージョン」約380本が贈られました。雨天時の事故から子どもたちを守ることを目的に実施している活動で、今回で12年目を迎えます。



江頭美市長[㊟]と永田佳子代表取締役[㊟]。傘は菊池市のほか、県内の市町村に約1万本贈られます

3月26日 JICA海外協力隊員
吉田典子さんと岩永洸輔さんが市を訪問

令和4年から2年間ボリビアで教育支援に従事していた吉田典子さん(富の原西、写真[㊟])と、5月から新たに派遣される岩永洸輔さん(竹の下、写真[㊟])が市役所を訪問。岩永さんは柔道指導のため、インドネシアへ2年間派遣されます。



帰国した吉田さんは、「今後も日本で動きつつ、スペイン語の勉強やボランティアも継続的に行っていきたい」と話しました

4月7日 坂本博さん・榮子さん夫婦(高野瀬)
箱庭で江戸の風景を再現

隈府の商店街では、昭和40年代頃まで子どもたちが中心となって、草や木などの自然の材料で箱庭を作っていました。当時を知る坂本さん夫婦が、8年前から毎年テーマを決めて自宅や店舗などで箱庭を制作し、一般公開しています。



博さんは「失われつつある日本の古き良き文化を子どもたちに残していきたい」と話しました。公開期間：は5月末まで。(土)10時30分～午後3時 ところ：坂本さん宅(隈府1604-4)

3月18日 旭志グラウンド横の芝生広場
広場に新たな遊具を設置

旭志地域の地域振興と子育て世代に向けて、旭志グラウンド横にある芝生広場に、対象年齢3歳～6歳の幼児用遊具と6歳～12歳の児童用遊具を設置しました。この遊具は周囲の地域の皆さんの要望を受けて設置されたものです。



地域の皆さんに長く愛される遊具になればと思います。ぜひ遊びに来てください

3月25日 「桜樹木寄贈」目録を贈呈
肥後銀行から春の贈り物

肥後銀行が創立100周年を記念し、県内の市町村にサクラを寄贈する「桜樹木寄贈」で、市にソメイヨシノを贈りました。本事業はサクラを通して地域の皆さんに喜びをもたらし、観光資源として活用してほしいとの思いが込められています。



菊池支店の谷和彦支店長[㊟]と植樹場所を管理する菊池ライオンズクラブの寺田草三さん[㊟]。サクラは菊池公園に植樹されました

3月31日 高校駅伝大会
平山藍々花さんが全国大会に出場

西正観寺出身で宮崎県立小林高校に通う平山藍々花さん(当時2年生)が、昨年12月に京都府で開催された全国高等学校駅伝競走大会に出場。1月に同府で行われた全国都道府県対抗女子駅伝にも宮崎県代表として都大路を走りました。



平山さんは「自分の走りで応援してくれる方々へ感謝の気持ちと元気を届けられるように頑張ります」と話しました

3月8日 論語の教えを親子で学ぶ (関連19頁)
こども論語塾の修了式

菊池教育会(坂本敏正会長)が主催する「こども論語塾」の修了式があり、14人が修了証を受け取りました。親子で孔子の教えを学び、言葉の使い方や人間性を養うことを目的に毎年行われ、昨年度は全9回の講座が開催されました。



坂本会長は「文教の地としての歴史や伝統を再認識してもらい、子どもたちのこれからの人生に生かしてほしいです」と話しました

3月16日 桜の名所からの贈り物
奈良県吉野町がサクラを市に寄贈

本市は「全国南朝の歴史資産等所在市町村活性化協議会」に加盟しています。その縁で南北朝時代に朝廷がおかれていた奈良県吉野町(中井章太町長、写真[㊟])より、3本のシロヤマザクラが寄贈されました。



贈呈式は桜マラソンに合わせて、市ふるさと創生市民広場で行われ、贈呈されたシロヤマザクラは3月21日に菊池公園へ植樹しました

3月17日 環境省より受彰
被災地の復興支援に尽力

令和6年能登半島地震の被災地で活動した市の佐藤佳記参事と菊池市が環境省より表彰を受けました。佐藤参事は令和6年2月1日～10日および同年4月30日～5月9日に、石川県能登町に派遣されています。



佐藤参事[㊟]は、現地で主に被災家屋の公費解体制度の構築に関わる業務に尽力しました

3月7日 生活道路の利便性が向上
古川伊倉線が開通しました

市道古川伊倉線の滝黒仁田区～伊倉区の1.6*区間の工事が完成しました。国道387号からのアクセスが良くなり、災害時のう回路としての機能も果たします。千畳河原へも行きやすく、菊池渓谷と併せて周遊観光にも便利になりました。



滝黒仁田区の川原田明彦前区長は、「救急の場合も安心して対応することができるようになった」と話しました

3月12日 花房小学校
地域への思いを込めて卒業記念植樹

花房小学校の6年生(当時)14人が、卒業記念として校庭の花壇にアジサイの苗木を植えました。この植樹は、地域や母校に愛着を持ってもらえるよう、佐々木章さん(広瀬)が発案し、今年で6回目となります。



児童たちは、佐々木さんの自宅で2年間かけて育てた苗木16本を丁寧に植え、優しく土をかけて成長を願いました

3月16日 きくち音楽まつり
市内15団体による音楽交流

令和6年度菊池市教育委員会指定自主事業として、第42回きくち音楽まつりが開催されました。当日は、観客も器楽演奏や合唱の歌声に合わせて手拍子を行い、会場が一体となって盛り上がりました。



合唱を披露する菊池少年少女合唱団